

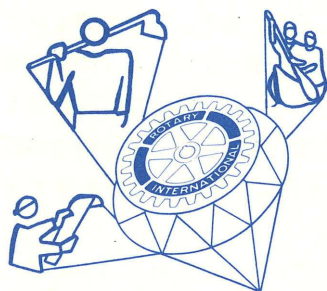


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

No. 148 1989年9月29日



国際ロータリー会長 ヒュー・M・アーチャー

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

ENJOY ROTARY!

**ロータリーを
楽しもう!**

本日の予定 1989年9月29日(第148回)

卓話 『青少年活動月間に因んで』

レティシア・ヨシカワ・タカオカさん
青少年交換留学生(ブラジルより来日)

先週報告

1989年9月22日 第147回

夜会例会(レディース・デー) 18:00~20:00

『徳永兼一郎 チェロコンサート』

チェロ 徳永兼一郎氏/N響首席チェロ奏者
ピアノ 林 裕子氏



名曲の数々を演奏していただきました。

司 会: 佐藤 定宏会長
♪ロータリーソング: 「手に手つないで」
ソングリーダー: E.A. ZALOOM 君
ニコニコボックス紹介: 山田 順則 君
来客紹介: 柴本 芳郎 君

出席状況: 会員51名中/出席33名/欠席18名
来客5名(海外1名・都内3名) ゲスト1名・同伴者22名

◎慶事披露

お誕生日 9月23日 E.A. ZALOOM 君
100%出席 2年 柴本 芳郎 君

◎幹事報告

千代田・京浜・山の手三分区合同 IMのご案内
〔と き〕 11月13日(月) 12:30~19:00
〔と ころ〕 ホテルパシフィック東京
〔テ ー マ〕 “クラブライフを楽しもう”
〔ホストクラブ〕 東京目黒RC
多数のご出席をお願い申し上げます。

◎親睦活動委員会報告

新会員歓迎会・第9回食べ歩きの会開催のご案内
〔日 時〕 10月11日(水) 18:00集合
〔集合場所〕 船宿「はしや」

貸切りの「屋形船」にて東京湾、墨田川へ江戸情緒を味わいながら、大いに楽しんで頂きたく企画しました。
奥様ご同伴にて多数のご参加をお待ちしております。

ニコニコボックス	(順不同・敬称略)
会長・幹事・赤松仁明・入沢頼二・岩上好範・岩瀬秀郎・高須康有・山川政樹	本日の演奏会楽しみにしております。
吉田 用親	レディの皆様ようこそいらっしゃいました。次回も是非どうぞ。
小西 暁也	ベスグロを昨日頂きました。
関 征春・永井克彦	ゴルフ同好会のみなさんありがとうございました。
竹島 忠昭	アイメイトへ。
ザル ム	無事アメリカからもどって来ました。
渡邊 治	村川さん、田島さん、佐藤会長、お世話になりました。
鈴木 重徳	右手骨折全治一ヶ月です。
	9月22日 15件 ¥48,000
	それぞれ、多額のご寄附を頂きました。有難うございます。

◎夜間例会(レディス・デー) 出席者(敬称略)

○ビジター: Jeff. Hansen/EIK Grove RC (USA),
A. Von Eisenhart/東京 RC, K.W. Ambrosius・
赤浦 修(東京南RC)・赤浦綾子(赤浦氏ゲスト)

○会 員〔ご同伴者〕

赤松、青野、芦部〔彰子〕、芦谷〔民枝〕、馬場、福田、平井〔恵子〕、保科(本人は欠席)〔知枝子、由里子〕、入沢、岩上〔米子〕、岩瀬〔和子〕、川鍋、小西、丸山〔豊子〕、宮澤、永井、二宮、大日方〔スミ子〕、佐藤〔定〕〔梯子、智子、五賀多美子、石沢寿恵〕、関、柴本、四分子〔塚原静夫〕、鈴木〔美智子〕、田島、高須、竹島、武下、田中〔清子〕、渡邊〔斐子〕、山田〔美津子、恵美〕、山川〔佐智子〕、山下、吉田〔克枝〕、E.A. Zaloom〔Vivian〕

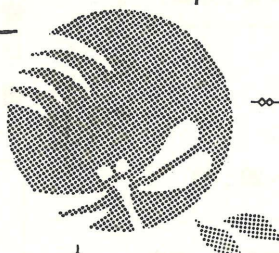
当クラブの今年度における課題は、何と申しましても新会員の増強ではないかと思えます。先の委員長ご挨拶の中で、斉藤茂之会員増強委員長からも述べられた通り、財政面からも是非各班5名の新会員候補者のご推薦をお願い申し上げます。少数の会員のままではクラブ運営も、クラブ活動も財政的に大変苦労することになります。

年会費は、クラブ運営費でありますので、一般諸経費と委員会諸経費に充当されますが、外国のクラブなどでは食費もこの中に入れていないということでもあります。何といても少数会員のクラブでは、運営費の捻出に苦労することは避けられないのが事実のようであります。

一方、ロータリーが求めている、クラブ活動の奉仕事業の分野であります。こちらで使うお金は、年会費からは支出できません。そこで「ニコニコボックス」が活躍する訳ですが、ここでも少数会員のクラブでは、集まるお金の限度があり、ロータリークラブらしい奉仕事業ができなくなります。

尚、あくまでご参考までに申し上げますと、当クラブの前年度における、ニコニコボックス総収入額は2,245千円で、1人当りは、45千円ほどになります。

委員長 ご挨拶



『会員選考委員会』

川 鍋 達 朗

発足当初より当クラブでは会員増強に最も重要なテーマとして掲げられております。かねてから1クラブ運営の経済自立のためには一定の人数が必要で、それは80人とも100人とも言われて来しました。

片や単に量を拡大することだけ考えず質の維持も考えていかねばならないこともこれ又重要であり、当クラブではかなり厳しいと思われる基準があり、もう少し基準をゆるめたらどうかという御意見を耳にするのも事実であります。

会員の皆さんがせっかくどなたか推薦されても当委員会の選考段階でお断りせざるを得ない様な結論を出すことは非常に心苦しいので、まず会員の皆さんにおかれては現行の基準などよく理解されて、必要に応じ事前にぜひ御相談いただきたいこと、次に、もし現行基準についていろいろ御意見があればぜひオープンに議論していただき、皆さんの同意があればそれらを改訂し、より一増深いご理解とコンセンサスを確認していただき度願うものであります。

新年度に入った最初の例会時に、ゲストの1人が私の所にやってきて、「あなたのクラブはすばらしい。いろいろなクラブを廻ったがこんなになごやかな楽しいクラブは始めてです」と言われました。私は大変うれしくなり、これから一年間クラブのゲストにより印象を与えるように頑張ろうと思いました。その日は、会長のユーモラス、ソングリーダーの一言、来客紹介のうまさ、ニコニコBoxの楽しい紹介等が続き、いいことづくめでした。

クラブは、やはり秩序正しく品位あることが大切な事だと考えますので、品位及び威信を落とさないように常に気を配っていかうと思います。ニコニコBoxの担当者を1人としたのでなかなか大変です。受付、会計担当の親睦活動の委員の方々と協力を密にしていきたいと考えます。

今期は、私語や早期退場の防止に力を入れていきます。

例会が円滑に運営され、あかるい友好的な機会を多くもてるような例会にしていきたいと考えますのでご協力の程よろしくお願い致します。

『広報委員会』

二 宮 利 泰

今年度広報委員長を務めることになりました。

「広報」と言う字を平たく云えば「ひろく知らせる」ということでしょうが、知らせるにはまず知ることから始まる道理です。お受けはしたものの、ロータリーについて全く不勉強な私ですがお引受けしたのを機会にまず知ることに精出すつもりです。幸い山川、柴藤両委員の助力を得て、まずは情報の収集に努力し度いと思いますので、私達3名にご協力をお願いします。

広報委員会の進め方として

- (1) 当クラブの内部では他の委員会と緊密に連絡を取り合い乍ら委員会活動の広報面について協力する。
- (2) クラブ外（一般）向では、一般世間向けにロータリーの活動を理解し更にその活動を受入れられる様、よい情報を報道してくれる機関のルート探しを試みる。

※当クラブの歴史の浅さもあり、物理的、経済的条件から困難な面が多々あると思われます。会員諸氏のよきアドバイスをいただければ幸いです。

以上微力乍ら努めさせていただきます。よろしく

『心の欲する所に従がいて矩を踰えず』

河 原 勢 自

過日、東京家庭裁判所は綾瀬の母子殺人事件の被疑少年三人に不処分決定を下した。これに関し多くの識者が意見を述べ、捜査の行き過ぎを批判し非難した。少年なのだから、もっと手厚い保護や寛大な捜査を行うべきだったと云うのである。しかし何ヶ月か前に、少女を監禁し鞭り殺しにした上コンクリートづめにした少年達の犯行については、警察の対応や処置が甘すぎたから、こんなことになったのだ、少年とは云えやるのが悪質なのだからもっとビシビシ処置すべきだと言うのが大方の意見だったと思われる。一方、巷に氾濫するポルノやホラービデオの青少年に与える悪影響が論じられ、いわゆる文化人達は、表現の自由、報道の自由を楯に規制に反対し、マスコミもこれに同調していたように思われたが、最近、宮崎勤の犯した慄然たる殺人事件を機にこれらビデオが明らかに宮崎の犯行心理に影響を与えているとして、厳しい規制が打出され始めた。現場で仕事をする警察官らは、上層部の意識変化にもとづく指令により忠実に職務を遂行することになるが、当然の事として関係のないビデオも規制したと言う行き過ぎる件が起るだろう。そうするとマスコミも文化人も又一勢にその行き過ぎを非難するだろう。右に行ったり左に行ったりのこの事象をどう捉えればいいのだろうか。

試行錯誤と言う金言を用いて、右に行って見て悪ければ左に行って見ると言うことの繰り返しで、正義公正と言う真理に到達しうるであろうか。

現代青少年の重大な問題点は何か、表現の自由の目指したものは何だったのかと言う根本を考察せずに個々の事象のみをあげつらっても不毛の議論となるだろう。壮大な建築物を築造するには、建築主の意志、そのための基本設計、美的なデザイン、近隣に対する影響除去等を全体的に考察し、こうあるべきだと言うコンセプトを把握して着工されるべきである。これを理念と言う言葉でおきかえることができよう。もし理念を欠いたまま試行錯誤を繰り返していたなら、百年たっても文化は遺らない。

ロータリークラブの活動においても、まず RC の理想は何か、理念は何かを学び、それを実現すべき各クラブとしては、何を理念とし、何をもちて指針とすべきか悟るべきだろう。いかなる方法でそれを学ぶかは難しいが、少くとも理念と言うものが存在し、それを指針とすると言う方向性がなければ、試行錯誤は単なる愚行の繰り返しである。孔子は「十有五にして学に志し云々」と述べられた上、「七十にして心の欲する所に従がいて矩を踰えず」と曰われた。

我々もロータリアンとして未だ学に志す時期であり、研鑽の末、心の欲する所に従がいて矩を踰えずと云う境地に達することが出来るならば、正に自由な行動がすべて理念に合致していることになるだろう。ぜひそうありたい。

『歴史とロマンにみちたカリフォルニア・ワイン』

赤 松 仁 明

サンフランシスコから金門橋を渡って約1時間余り北に向って車を走らせると、オールドミッション（修道教会）の町ソノマ市がある。カリフォルニア開拓の歴史は古いが、本格化したのはジュニペロセラ神父を中心とするキリスト教徒たちが1769年にサンディエゴミッションを建てたのに始まる。現在の大動脈 US 101 にそって走る旧国道エルカミノリアルは今でも処々に昔のおもかげを残しているが、200年以上も前にこの道にそって伝導と開拓が進み、約半世紀の間に南から北に向って21の修道教会が次々に開設されて行った。その最後で最北のものがサンフランシスコ・デ・ソラノと呼ばれ、このソノマに古いスペイン様式の姿で現存している。

ソノマから東に向い丘陵をいくつか越えるとナパ・バレーに這入る。今や味と質では世界 No. 1 と評価されるカリフォルニアワインの里がこの一帯の豊かな丘と盆地に恵まれたナパ・ソノマ・バレーで、広大なブドウ畑のあちこちに大小約200軒のワイナリーが、それぞれのブランドと味を誇っている。

伝統を誇るヨーロッパに比し、ここでのワインの歴史は200年余と浅いが、開拓者たちが次々とオールドミッションを建立するとともに、ブドウ園をひらき聖餐用のワインを醸ったのが始まりとされ、加州内に南北にわたって沢山のワイン生産地が点在している。

ワインの味の80%はブドウで決まるといわれるが、ナパ・バレーの広々とした緩やかな丘陵のもつ豊かな地味と、何よりも温暖で毎年安定した気候に恵まれた自然環境の中で、信仰にうらうちされた熱心な技術開発によって世界最高級のワインが醸成されたものである。

多数の中でも最高の品質といわれ最も優れたオートメ化工場をもつロバートモンダヴィ・ワイナリーの若主人によると、「味の好み問題は残るが、品質では絶対に自信がある。ヨーロッパの先輩達もわざわざ見学にみえている程である。特に白ワインは二年たつと味が落ち始めるものなので、年代を競う必要がなく、ヨーロッパものに負けない。ナパの土質に最も合っているのはシャドネ（ややドライ）。赤ではカバネソバニオンが適しており最高。しかし長年の貯蔵を楽しむ赤についてみれば、年により気候が不安定なヨーロッパのような「良い年悪い年」の面白味が少い。ここでは毎年必ず最高のワインができるから、ビジネスとしてのスリルは少い」というような事であったと記憶するが、何分にももうひと昔前の話である。技術開発に情熱をかためける彼らのことであるから、歳を経て歴史とともに大きなロマンが開花するであろう。今からふりかえってみれば、“ENJOY YOUR VOCATION (天職)” そのものの人達であった。

会 員 寄 稿

「アイメイト」について

竹 島 忠 昭

小学生の頃、母親にせがんで「マル」と呼ぶ雌犬を飼ってもらった。結婚後、今度は子供にせがまれて、いずれも雑種であったが、「マル」雌、「ブル」雄を飼ったが、いずれも若くして流行性肝炎、フェラリヤで死亡した。そして今「コロ」と呼ぶ雌、雑種、生後9年目の中型犬を飼っている。庭に放し飼いにしてあるが、私が夜どんなに遅く帰宅しても、必ず玄関脇まで尻尾を振って迎えてくれる。犬は本当に、喜びも、哀しみも、諦めも、怒りも、からだ一杯で表現する。

4月21日の卓話で、塩屋先生の「盲導犬育成に賭けた40年」を拝聴した。何週間も自分の目に覆いをして、目の不自由な人が、本当に犬に求めるものは何か？ を体験されたお話を伺い、深く感動した。

このお話をきっかけに、盲導犬物語「盲導犬フロックスとの旅」等を読んだ。その中の一冊に、「盲導犬とその主人の関係、それは親子でもなく夫婦でもなく、友達でもなく、この世の中でいちばん素晴らしいつながりではないでしょうか」と述べられている。

東京盲導犬協会の卒業生一盲導犬フロックス、著者福沢美和さんはその著書の中でつぎのように述べている。

『盲導犬の育成をしている東京盲導犬協会では、目の不自由な人たちが盲導犬との歩行指導を終えて卒業するとき、理事長の塩屋先生がいつも、“盲導犬とあるきはじめたら精神的にも自立して、目の見える人とおなじような社会生活をおくってください。”と、卒業生をはげましてくださいます。9年まえにこの協会を卒業してフロックスが私の盲導犬になった日から、私は、“目が見えなくても、人を頼らずに、自分の力で生きていこう。”と心にきめました。その時から何年もの間、数多くの難しい問題とぶつかりながら、フロックスと共にひとつひとつを築きあげてきたのが、現在の私たちふたりのたのしく充実した生活です。フロックスと一緒に、こんなこともできる、あんなこともできるのだと自信がついていくなかで、目の見える人と同じように、旅行したい、というのが私の夢でした。その夢が、とうとう実現したのです。』そして四国一周の旅を終えたのです。「心から犬に愛情をもつことのできる人だけが盲導犬をつかうことが出来るのです」町で盲導犬に出合ったら、こわがったり、いやがったりしないで、やさしく見守っていただきたいと思います。

それにしても、盲導犬の養成がボランティアであることは、ロータリーの奉仕をとおして、僅かでもお役に立ちたいと思います。

◎ロータリー情報委員会報告

職業に関する訳語の変更

「ロータリーの友」横組み1ページの「ロータリーとは」欄に「ロータリーの綱領」が掲載されていることはご存知でしょうが、訳語の一部が7月号以降変更されていることにお気付でしょうか。RI日本支局の発表によりますと、RIから任命された文献邦訳諮問委員会は職業について使い分ける場合の訳語を下記のように変更し、今後これからの訳語に統一するということでもあります。

	(旧)	(新)
Vocation	職業	職業
Occupation	職業	業務
Business	実業	事業
Profession	専門職業	専門職務 (前後の文章によっては職務)

また次の訳語も変更されました

	(旧)	(新)
Business life	職業生活	事業生活
Business and professional persons	実業と専門職業人	事業と専門職務に携わる人

(「ロータリーの友」1989年9月号㊹ページから)

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること；
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

◎次週予定 1989年10月6日(金)(第149回)

クラブ創立3周年記念例会

卓話予定『東京新南RC創立3周年記念に因んで』

赤 浦 修氏/東京南RC会員

共和ビルディング(株)取締役会長

受付会計/飛島・四分一 来客紹介/後藤

ソングリーダー/村上 ニコニコボックス/山下

各担当の会員の方は、11時50分迄にご出席願います。

東京新南ロータリークラブ 会長=佐藤 定宏 副会長=川鍋 達朗 幹事=馬場 一廣 会報=大日方 真
事務所 〒107 東京都港区赤坂 2-22-19 南部坂アネックス 201号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004
例会日 金曜日 12時30分 例会場 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂 1-12-33 TEL. 03-505-1111